

ごんた坂

(光陵高校同窓会会報)

第22号



〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト

目次

平成29年度総会・懇親会のご案内 (特別講演 9期 井上みほ氏)	2
光陵マスコット紹介/50周年記念誌のご案内	3
特集記事 Youは何しに海外へ?	4,5
平成28年度総会議事報告	6
学校近況報告(合格状況・部活動実績・教職員異動)...	7
光陵会からのお知らせ・卒業生からの便り	8

昨年度 総会・懇親会



特別講演 8期坪谷ニウエル郁子さん
「近づく“黒船”バカロレア」



懇親会の様子

半世紀を過ぎた光陵と光陵会

会長 太田 秀和 (2期)



学校の伝統というものについて考えさせられる機会がありました。昨年(2016年)、翠嵐高校の100周年、横須賀大津高校の110周年の記念式典に出席させていただいたのです。どちらも有数の伝統校ですが、同窓会スタッフの大部分は、リタイアした方たちで占められていて、若い卒業生の姿をそこに見ることはできませんでした。

現役の年代の卒業生はバリバリ仕事をしていて、忙しい日々を送っているのはどの高校の同窓会でも同じですが、わが光陵会では、実務スタッフを大学生の皆さんが務めているのが特徴です。忙しい学生生活のなか、光陵会を支えていただき感謝で一杯です。そして30歳代のスタッフが、大学生をはじめとする20歳代の実務スタッフだけでなく、私たち卒業期数が一桁の50～60歳代のスタッフ(なかには長老と呼ばれている方もいます)をうまくコントロールしてくださっているのも光陵会の

誇るべき点です。

光陵会の課題は、40歳代、50歳代の卒業生にスタッフに加入していただくことではないかと私は思っています。そして実は希望があるのです。私も毎年参加している「青春かながわ校歌祭」の常連が、この年齢層なのです。近い将来の光陵会の中心スタッフとしてひそかな希望をもっております。「ともに校歌や応援歌を歌い、学生時代の仲間と旧交を温め、先輩・後輩と語る。そして、少しでも母校のお役に立てれば嬉しい」という共通の思い。そこに期待したいのです。

それはともあれ、最近改めて思うのは高校時代の3年間で間違いなく自分の精神的ベースになっていることです。昨年プリンスホテルを退社し、2つの会社の非常勤勤務となりました。まだ組織に片足を残していますが、まったくフリーになった時、今実践している「身の丈にあったボランティア活動」をさらに推し進め、光陵会ともっと深くかわっていきたいと思います。

現在母校から依頼があったとき光陵会は年間20万円を上限に備品購入のお手伝いをしています。卒業生の皆さんからのさらなる寄付を期待し、母校発展のお役に立ちたいと思っています。

事務局長からの感謝状

事務局長 飯田 雅大 (47期)



今年も光陵会会報『ごんた坂』が発行される季節になりました。光陵会とは卒業生、つまりこれを読んでおられる皆様も加入している同窓会組織であり、その会員数は現在約1万5千人に上ります。今年は49期生が入会し、来年にはとうとう50期生が入会します。これほど多くの卒業生を繋ぐ存在として光陵会は活動しています。

光陵会を運営しているのは、主に学生のボランティアで構成される事務局です。同窓会の事務的な運営だけに留まらず、総会・懇親会の開催や光陵祭への出展など、多岐にわたる活動をしています。毎年発行しているこの会報も、その一つです。

そんな事務局をまとめるのが事務局長です。お恥ずかしい話ですが、僕が事務局長になった当時、自分なら事務局をまとめられる、うまく運営できると思っていました。自信がありました。と

ころが実際にやってみるとそう上手くはいかず、一筋縄でいくことなど全くありませんでした。しかし、多くの事務局スタッフが僕を助けてくれました。感謝してもしきれません。

この会報は僕たち事務局の努力の成果です。今年の特集記事では海外で働いている卒業生を取材し、その生きざまを語っていただきました。光陵高校が昨年50周年を迎え、更なる半世紀へと歩みを進めているなか、私たち卒業生にとって、力がもらえ、新たな一歩を踏み出すきっかけになるような内容です。

一口に「卒業生」と言っても、今やその年齢層はとても幅広いものとなっています。しかし、たとえ年齢が離れていても、同じ「光陵生」として会員の皆様に近くに感じられるような、そんな会報になっていることと思います。事務局スタッフ総勢で作上げたこの会報『ごんた坂』、お楽しみください。

最後にもう一度、会報を発行するにあたって協力していただいたすべての方々に、心から感謝申し上げます。1期生から49期生までのすべての卒業生が、「光陵」の名のもとにこの会報で繋がりを感じられることを願っています。

U R L : <http://www.koryo.gr.jp/sns/>
MAIL : koryo-kai-request@koryo.gr.jp
運営: 光陵会メーリングリスト (koryo.gr.jp)

光陵高校にゆるキャラ誕生？ その名も「ごんたん」!!

一昨年行われた 50 周年記念式典でお披露目された光陵高校マスコットキャラクター「ごんたん」。前号の『ごんた坂』ではお届けできなかったその正体を皆様にご紹介いたします。

はじめまして。ほく、ごんたん。

今は学校で配布されるプリントや、先生たちの名刺の片隅にいたりするんだごん。もっとほくのことを知ってもらうために、今後グッズを制作するかもしれないって聞いたごん。将来、光陵高校の台格を目指す中学生のお守りになれば嬉しいごん。

卒業生のみんなも、ほくのこと応援してくれごん。よろしくおねがいしますごん。



© 大場あゆみ

- ・校内に時々現れるというリス
- ・無口だが、努力家
- ・トレードマークは校章の形をした帽子
- ・50 期の生徒が生みの親
- ・なでると学力が上がるらしい

ごんたん

こうりょうこうこうマスコット

たかさ	0.15m
おもさ	0.1kg

「ごんたん」は、生徒主導の新たな試みで誕生しました。主体的に動く光陵生の頼もしさを感じるとともに、生徒たちの前衛的なアイデアを積極的に支援する、寛容な環境である母校を誇りに思います。光陵会事務局は、今後生徒会と話し合いを重ね、グッズ制作に前向きに協力していく方針です。これからの「ごんたん」の活躍をどうぞ楽しみに。

創立50周年記念誌の見どころ紹介

昨年 3 月、光陵高校 50 周年記念事業の一環として記念誌が完成いたしました。ここでは、その見どころを紹介いたします。



光陵の50年を振り返る

各界で活躍する卒業生の寄稿や、座談会・対談を通じて、在学中のエピソードや校風を伺いました。当時の写真も満載です。各期にしか通じない、いわゆる「あるある」も!?

フルカラーで写真も豊富に掲載

光陵高校の 50 年の歴史が詰まった 244 ページ! さらに、フルカラー(資料編は除く)で作成し、当時から現在までの光陵の様子をリアルに感じ取ることができます。

校歌の裏話!?

みなさんが在学中に一度は歌ったあの校歌。その完成秘話を、作詞者の石渡英雄氏と作曲者の三好明雄氏に伺いました。

記念誌編集部より

多くの方々のあたたかいご協力をいただき、見て懐かし、読んで面白い 50 周年記念誌ができました。機会がありましたら、ぜひお手に取ってお楽しみください。



光陵会へ 5 口(1 口 2,000 円)のご寄付をいただいた方に、本誌を贈呈しております。寄付方法等、詳細は 50 周年記念事業 HP にて確認ください。http://koryokai.jp/koryo_50th/「光陵 50 周年」で検索!



Youは何しに海外へ？

創立52年目を迎え、新たな一步を踏み出した光陵高校。グローバル化が進む今、光陵高校卒業生の活躍の場は海外にも広がっています。そこで今回は、オーストラリアで天然ガス開発事業に携わっている播口陽介さん（36期）、ルワンダで環境問題に取り組んでいた経験のある三戸俊和さん（23期）にお話を伺いました。

YOUだけの武器を身につける!!

日本初のプロジェクトに挑む 播口陽介さん

—早速ですが、播口さんはどのようなお仕事をされているのでしょうか。

オーストラリアのガス田で生産するガスをLNG（液化天然ガス）にして、船で世界に輸出するイクシスプロジェクトという事業に携わっています。現在日本はエネルギーのほとんどを輸入に頼っていて、海外の会社が生産している油やガスを買っているというのが現実ですが、このプロジェクトの画期的な点は、初めて日本の会社が開発・生産したものを日本に輸出しているというところです。

—海外でお仕事をされていて、ご苦労はありましたか。

やはり日本との働き方の違いに戸惑いました。例えば、ある時アルゼンチンの同僚から、「メールにCCをつけて多くの人に送信しないでほしい」と言われました。自分が良かれと思って多くの人に情報共有していたのですが、彼は自分たちが担当したことは、自分たちだけでやるべきだと考えていたのです。日本では良いとされていることでも、相手によっては不快に感じられることもありました。他にも会議や仕事の進め方も違っていて驚きましたし、順応するのが大変でした。

—それぞれのやり方を主張し合うことになるのですね。ただ、自己主張し合うだけではお互いを理解することは難しそうですね。

そこがまさに一番大事なことです。バックグラウンドが違う人が一緒に働いているから、みんな主張が違うのは当たり前です。異なる文化圏から多くの人たちが集まると、根本的なところから定義する必要があるんですよね。そのために、まず自分の意見を互いに言って、その中でどう折り合いをつけるのが大事なのだと思います。

—自信をもって主張をするためには何が必要なのでしょう。

人によってアプローチが違うと思うのですが、私の場合は技術職として日本のガス田での経験があったので、向こうに行っても技術的・専門的な議論はあまり負ける気がしませんでした。下地が整ってから行ったので、すんなりと



播口陽介さん（36期）

元光陵会事務局長。大学卒業後INPEX（国際石油開発帝石）に入社。5年間日本で勤務した後オーストラリアへ出向。現在日本企業が主体となり操業する初のLNGプロジェクト、「イクシスプロジェクト」に携わる。

受け入れてもらえたと思います。一芸というか、これは負けないぞ、これは頑張ってきた、と思えるものがある人の主張は強いと思います。そういう自分だけの武器があるといいかもしれません。

—英語に自信がないと、自分の主張ができるか不安ではないのでしょうか？

僕ももともと英語が特別得意だったわけではありませんでしたが、大学生の時の国際交流で意外と何とか意思疎通ができた経験がありました。そこで感じたのは、他の国の人もそんなに英語がうまいということですね（笑）

これまで仕事をしてきたノンネイティブの人たちも、決して全員が英語がうまいわけではないのですが堂々としていた、そこが大事です。

日本人は英語をきちんとしようとしてしまいがちだけど、ただのコミュニケーションツールだって吹っ切れてしまえばいいと思いますね。

—様々なご苦労があるなかでも、海外でお仕事をされていて、よかったと思うことはありますか。

海外を知ることによって日本の良いところと悪いところがより明確になるというのがあると思います。日本にずっといると何もかもが当たり前になり、これが日本の良い面で、これが日本の悪い面だ、というところがちょっと見えにくかったのかもしれない。

—日本を外から見ることで視野が広がるということですね。海外の魅力がとても伝わってきました。お忙しいなか、ありがとうございました。

緊張しながらも
インタビューをする
大塚（47期）



喜びや苦勞の先にー

ルワンダの環境問題改善に貢献 三戸俊和さん

ー三戸さんは海外でお仕事をされるにあたり、どのような苦勞、困難がありましたか。

海外では「何でもあり」が基本で、特にアフリカでは打ち合わせを予約した相手がいなかったり、一緒に国際会議に行こうと約束した相手が突然刑務所に収監されたり、知り合いが毒殺容疑で捕まったり、家にある2,000リットルの巨大な水道タンクが突然崩壊してタンクの蓋が空中を舞ったりということがありましたね。また当時環境問題に取り組む海外人材はルワンダで実質私一人でしたので、何でも自分の力でやらなければいけません。アスベスト除去事業は国家計画を一人で作成し首相の会議で承認を受けましたし、さらに現地の技術者2,000人以上へのマニュアル作成から指導までほぼ一人で行いました。そういえば必要だったのでブルドーザーの免許も取りに行きましたね。苦勞はしましたが日本でできない楽しい経験でした。

ーそんなことがあったのですか！それは日本では考えられないですね。そのようなことに直面されたとき、どのように乗り越えていられましたか。

とにかく日本の常識に囚われずに、苦勞や困難をあまり気にしないことです。日本より快適な環境は世界のどこを見てもまずないですから、心配していても何も始まりません。それを乗り越えられれば、自分のいる環境を楽しめると思います。

ー海外生活のなかで感じられた良かった点や学びを得た点などについて教えてください。

海外生活の一番の利点は視野が広がることです。ルワンダでは明日の生活さえわからない人々が必死に暮らしているのを目の当たりにしました。そこで日本人である自分の生活環境がいかに恵まれているかを実感しました。時には悩むことがありますが、アフリカに住んでいるとそれがいかに些細なことであるかに気付かされ、すっかりばかばかしくなりましたね。またルワンダは発展途上ですが、若い人が多く、みんな国の未来に明るい希望をもっていて街が元気です。日本ではなかなか感じることでない活気に身を置き、彼らが楽しそうに頑張っている姿を見ると、元気付けられます。

ー海外で仕事をするを志す方に向け、何かアドバイスをお願いします。

日本が海外で他の国と競争しながら仕事をする際に、今一番欠けているのは文系的な交渉力だと思います。先ほども述べましたが、全く異なるバックグラウンドの人に自分の主張を伝え、場合によっては考え方を覚えてもらい、自分が訴える方向に人々を導く交渉力は海外のみならず人生において必須の力です。日本の教育ではそういう訓練の機会

が少ないですので、その克服のため内外の社会問題について気軽にディスカッションができるような環境を、自分で築き上げるとよいでしょう。インターネットの話題やニュースなど何でもよいので、毎日の世間のどんな話題についても「例えばコメントーターとして意見を求められたときに何かは言える」、さらに言えば、「その話題に関連した質問を1つは思いつくことができる」というような訓練をしておくのが、とても有効です。また英語をはじめとした外国語にも早くから慣れるべきだと思います。

ー以前三戸さんにはキャリアガイダンスの講師として講演していただきましたが、卒業されてから時間が経ってもなお、光陵に関わり続けられている理由をお聞かせください。

若い人は将来の日本を担ってくれる貴重な存在です。自分が老いたときには面倒をみてもらう人々ですから、そういう人の役に立つことをしない方がむしろ不思議です。一緒に議論して、成長して、少しでも前向きな取り組みができる人が増えればと思いますので、機会があればまた呼んでください。

ー三戸さん、ありがとうございました。



三戸俊和さん(23期)

大学卒業後、当時の環境庁(現環境省)に入庁。カナダの大学院への留学、内閣官房への出向を経験した後、2009年より2016年までアフリカ、ルワンダに滞在。国連開発計画(UNDP)の職員として廃棄物対策に携わり、任期終了後も環境コンサルタントとして現地の環境問題に取り組む。

あとかき

海外で実際に働いたからこそ言える海外の魅力や苦勞したことなど、貴重なお話を聞くことができました。今回の会報に載せきれなかったインタビューの全文は以下のURLに掲載されております。ぜひご覧ください。

(URL: <http://koryokai.jp/kaihou/tokushu22/>)

(47期 大塚 美咲、48期 古田 出帆)

平成28年度
総会報告

昨年の6月4日(土)に、平成28年度総会が光陵高校第一視聴覚室にて開催されました。以下の議事項目がすべて承認されましたことをご報告いたします。

- ① 平成27年度決算報告
- ② 平成28年度予算案審議
- ③ 平成27年度役員解任
- ④ 平成28年度役員承認

また、以下について活動報告を行いました。

- ① 50周年記念事業報告
- ② キャリアガイダンス事業報告
- ③ 名簿発刊事業報告
- ④ 校歌祭事業報告 (47期 熊澤彩花)

寄贈事業

光陵会は毎年、光陵高校に20万円を上限とした物品の寄贈を行っております。

平成28年度も学校側に寄贈品の要望を伺いましたが、いよいよ校舎の耐震工事が始まることから寄贈品の設置が困難であるため、今回は寄贈を見送ることになりました。今後も有意義な寄贈が行えるように継続して取り組んでいきますので、ご意見・ご要望がございましたら、同封のハガキにてお寄せいただければ幸いです。

(47期 熊澤彩花)

光陵会賛助金報告

光陵会では50周年記念事業支援のため寄付金を募っております。

昨年4月以降、30名の方に計26万1,000円のご支援を賜りました。

皆様の温かいお心遣いに深く感謝いたしますとともに、ご報告申し上げます。今後とも、ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

会計報告

平成28年度決算

(2016/03/01 ~ 2017/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,079,460
懇親会会費	¥337,000
賛助金	¥0
名簿売上	¥21,000
50周年寄付金	¥308,858
50周年祝賀会余剰金	¥176,285
その他	¥16,600
前年度繰越金	¥16,277,492
合計	¥20,216,695

(支出の部)

通信費	¥168,754
印刷費	¥12,520
事務費	¥8,198
運営費	¥343,881
交通費	¥168,680
懇親会費	¥449,936
H P 運用費	¥12,960
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥55,800
光陵祭費	¥70,091
高校寄付費	¥0
設備予備費	¥0
前々期損益修正損	¥108,000
今期損益修正損	¥9,394
合計	¥1,908,214
収支差額	¥18,308,481

平成29年度予算案

(2017/03/01 ~ 2018/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,200,000
懇親会会費	¥400,000
前年度繰越金	¥18,308,481
合計	¥21,908,481

(支出の部)

通信費	¥300,000
事務費	¥30,000
運営費	¥500,000
交通費	¥200,000
懇親会費	¥400,000
H P 運用費	¥50,000
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥80,000
光陵祭費	¥80,000
高校寄付費	¥200,000
設備予備費	¥100,000
合計	¥2,440,000
収支差額	¥19,468,481

平成28年度光陵会役員・監査・事務局

会 長	太田 秀和(2期)
副 会 長	大道 正夫(4期) 山本 勉(4期) 中濱こずえ(9期)
理 事	藤原 真人(22期) 藤原 直人(31期) 高橋 芳昌(33期) 増田 祐徳(36期) 金子 周平(38期) 増田 悠子(38期) 柘植 貴之(41期) 阿南紗智子(41期) 佐藤 楓(42期)
会 計	菊名 直人(42期) 長尾沙津季(46期) 小谷津美咲(47期) 千々輪晃斗(48期)
監 査	上原 武(25期) 柿崎 祐一(25期) 小西 直子(35期) 播口 陽介(36期) 山本 航介(43期)
事 務 局 長	飯田 雅大(47期)
副 局 長	村上 将(45期) 萬 紗帆(46期) 戸田 岳(47期) 橋本 美沙(47期) 町永 彩音(48期)
書 記	安藤えり子(45期) 熊澤 彩花(47期) 鈴木 淳平(47期) 二見 慧(48期)

平成29年度光陵会役員・監査・事務局

会 長	太田 秀和(2期)
副 会 長	大道 正夫(4期) 山本 勉(4期) 中濱こずえ(9期) 藤原 真人(22期)
理 事	茅野 憲(7期) 荒木 宏之(19期) 藤原 直人(31期) 高橋 芳昌(33期) 増田 祐徳(36期) 金子 周平(38期) 柘植 貴之(41期) 阿南紗智子(41期) 佐藤 楓(42期) 山本 航介(43期) 佐藤 菖(44期)
会 計	菊名 直人(42期) 大塚 美咲(47期) 小谷津美咲(47期) 相原 康平(49期)
監 査	上原 武(25期) 柿崎 祐一(25期) 小西 直子(35期) 播口 陽介(36期) 村上 将(45期)
事 務 局 長	飯田 雅大(47期)
副 局 長	山下裕太郎(45期) 長尾沙津季(46期) 玄埜 恭平(49期) 中村 風沙(49期)
書 記	千々輪晃斗(48期) 原 和史(48期) 木村 英俊(49期) 井上慎之佑(49期) 鈴木 大空(49期)

光陵卒業生人材バンク登録のお願い

光陵高校では、10年以上前から毎年、1・2年生対象の「キャリアガイダンス」を実施しています。様々な分野で活躍する卒業生が仕事の内容や進路選択の過程をお話しし、キャリア形成に役立ててもらおうというもので、今年も3月4日に18名の卒業生が光陵を訪れました。幅広い業種に従事する講師らが高校時代の体験談を交えて熱く語る講座は、現役生だけでなく教員や卒業生の間でも大好評で、卒業生同士が異業種交流を通じて光陵の絆を再確認する場ともなっています。光陵会は講師をしていただく卒業生を光陵高校にご紹介する形でこのプログラムに協力しております。趣旨に賛同し、講師としての参加に関心のある方はぜひ「光陵高校内光陵会」(住所:保土ヶ谷区権太坂1-7-1、メールアドレス:staff@koryokai.jp)までご連絡ください。

平成29年度入試 進路状況のまとめ

(平成29年 3月24日現在)

Ⅰ. 全体的な状況

(1)平成29年3月 卒業生

卒業生数	313
就職者数	1
進学希望者数	312
同上の割合	99.7%
合格者実数	255
同上の割合	81.5%

(2)過年度卒業生

延合格者数	83
-------	----

Ⅱ. 進路状況(合格者数)

(1)国公立大学

学校名	平成29年 総数 現役	平成28年 総数 現役	平成27年 総数 現役
北海道大学			2 1
北見工業大学			1
弘前大学(医)		1	
岩手大学		1 1	
東北大学	3 1		1 1
東北大学(歯)		1	
筑波大学		1	2 2
埼玉大学	1 1 1	1	1
千葉大学			1 1
お茶の水女子大学			1 1
一橋大学			1
東京大学		2 1 1	1 1
東京海洋大学	2 1 3		1 1
東京芸術大学			1 1
東京外国語大学	1 1 1	1 1 1	1 1
東京学芸大学	3 3 4	2 3 3	
東京工業大学	1	2 1 1	1 1
東京農工大学		2 1 1	
電気通信大学	1 1		1 1
横浜国立大学	15 13 9	3 11 9	
新潟大学	2 1		
静岡大学	1 1 1	1 1 1	
山梨大学			1 1
信州大学	1 1		2 1
三重大学		1 1 1	
広島大学		1	
山口大学	1 1		

学校名	平成29年 総数 現役	平成28年 総数 現役	平成27年 総数 現役
香川大学(医)	1		1 1
宮崎大学	1		
国際教養大学		1 1	
福島県立医科大学		1	
会津大学	1 1		
埼玉県立大学		1 1	
首都大学東京	2 2 6	5 4 4	4
神戸川崎立保健福祉大学	6 6 2	2 1 1	
横浜国立大学	8 7 11	10 10 10	
都留文科大学		1 1	
尾道市立大学			1
合 計	51 41	54 30	53 44

(2)私立大学

学校名	平成29年 総数 現役	平成28年 総数 現役	平成27年 総数 現役
岩手医科大学		1	
東北医科薬科大学(医)	1	2	
国際医療福祉大学		2 2 3	3 3
尚美学園大学			1 1
女子栄養大学	3 3		
日本医科学大学		2 2	
文教大学	2 2 1	1 4 2	
千葉科学大学			2 2
青山学院大学	33 31	35 27 29	27
桜美林大学	3 3 2	2 2 2	
大妻女子大学		5 2 1	
学習院大学	17 17 10	8 6 5	
学習院女子大学	1 1 1	1 1 1	
北里大学	14 14 12	8 14 14	
北里大学(医)		2	
共立女子大学	4 4 4	4 1 1	
杏林大学	2 2 2	2 5 5	
杏林大学(医)		1	
慶應義塾大学	15 13 14	9 16 11	
工学院大学		7 5 2	2
國學院大学	20 15 17	17 17 14	
国際基督教大学		1 1 1	
国士館大学	3 3 3	3 3 3	
駒澤大学	10 9 19	16 13 11	
実践女子大学	1 1 3	2 4 3	
芝浦工業大学	11 6 15	6 8 7	
順天堂大学		6 6 4	4

学校名	平成29年 総数 現役	平成28年 総数 現役	平成27年 総数 現役
上智大学	20 20 14	10 23 16	
昭和大学	2 2		5 5
昭和女子大学	1 1 5	4 3 3	
昭和薬科大学	3 3		3 3
成蹊大学	1 1 1	1 9 6	
成城大学	8 6 7	5 3 3	
聖心女子大学		1	
立教大学			1 1
専修大学	13 12 19	18 21 19	
拓殖大学			2 2
玉川大学	9 9 5	3 11 8	
多摩大学			1
多摩美術大学	6 6 6	6	
中央大学	25 18 53	39 48 42	
津田塾大学		1 1	
帝京大学	1 1 4	4 5 3	
帝京平成大学	3 3 4	4	
東海大学	14 11 17	14 7 6	
東海大学(医)		1	
東京医科大学	2 2 1	1 1	
東京医療保健大学	1 1 3	3 1 1	
東京家政大学	4 4		3 3
東京経済大学		2 2	
東京工科大学	2 1 4	4 10 10	
東京工芸大学		2 2	
東京女子大学	3 3 7	2	
東京造形大学	2 2 2	2	
東京電機大学	5 5 3	2 4 4	
東京都立大学	18 15 13	8 19 10	
東京農業大学	19 19 4	4 23 16	
東京薬科大学	4 4 1	5 5	
東京理科大学	17 14 23	12 16 14	
桐朋学園大学		1 1	
東洋大学	7 6 11	11 25 21	
東邦大学	3 3 3	2	
日本大学	75 67 77	52 53 46	
日本大学(医)		1	
日本女子大学	10 10 6	4 8 6	
日本赤十字看護大学	2 1 6	6 1 1	
日本体育大学	1 1 1	1 1 1	
文化学園大学		1 1	
法政大学	66 57 62	45 61 49	
星薬科大学	2 2 1	1 3 3	
武蔵大学	1 1 1	1	

学校名	平成29年 総数 現役	平成28年 総数 現役	平成27年 総数 現役
武蔵野大学	6 5 3	3 2 2	
武蔵野美術大学	2 2 7	7	
明治大学	54 47 88	57 76 60	
明治学院大学	26 24 45	41 36 31	
明治薬科大学	1 1 1	1 3 3	
明星大学	1 1 1	1 3	
目白大学		2 2 1	
立教大学	27 27 27	25 30 24	
立正大学	1 1 1	1 4 4	
早稲田大学	39 35 46	34 36 30	
麻布大学	1 1		2 2
神奈川大学	18 15 30	24 18 16	
神奈川工科大学	2 2		
鎌倉女子大学			3 3
関東学院大学	8 5 3	3 8 7	
産業能率大学	1 1 3	3 8 8	
相模女子大学		2 1	
湘南医療大学	2 2		
東洋英和女学院大学	1 1 3	3 6 6	
フェリス学院大学	4 4 5	5 7 7	
横浜薬科大学	2 2 2	1 1	
横浜創英大学	1 1		
女子美術大学		3 3	
南山大学		1 1	
近畿大学		1 1	
立命館大学		1 1	
立命館アジア大学			1 1
九州保健福祉大学			1 1
デトハリノワンド大学		1 1	
合 計	687 612 817	617 759 633	

(3)短期大学、大学校、専門学校

学校名	平成29年 総数 現役	平成28年 総数 現役	平成27年 総数 現役
川崎市立看護短期大学		1 1 1	1
防衛大学校		1	1 1
防衛医科大学校		1 1	
水産大学校		1	
横浜国立大学短期大学部	1 1		
神奈川衛生看護専門学校		1 1 1	1 1
藤沢市立看護専門学校			1 1
日本工学院専門学校	2 1		
東京ITデザイン専門学校		1 1	
文化服装学院		1 1	
合 計	3 2 7	5 4 4	

平成28年度 部活動実績(抜粋)

部活名	大会名と結果
サッカー	全国高校サッカー選手権大会県ベスト29
男子ハンドボール	県選手権大会ベスト16
陸上競技	県高校新人出場200m、400m 6位入賞 関東高校選抜新人出場400m 8位入賞
女子バレーボール	関東大会横浜地区予選会ブロック優勝
バドミントン	関東予選学校対抗戦 県大会出場ベスト16
ダンス	日本ダンス大会全国大会出場 日本高校ダンス部選手権全国大会出場 神奈川県高等学校ダンス新人大会 2位
男子テニス	高等学校テニス大会 団体ベスト32 横浜ジュニアトーナメント ベスト16
水泳	横浜市民総合体育大会 男子200mフリーリレー 6位入賞 100m自由形 3位入賞
吹奏楽	神奈川県吹奏楽コンクール金賞 関東東吹奏楽コンクール出場
合唱	神奈川県合唱コンクール銅賞
囲碁	関東地区高等学校囲碁選手権大会出場

教職員異動

【平成27年度 離・退任者】

氏名	教科等	転出先
竹内 美香	保健体育	退職
小林 芳明	理科	横浜旭陵高校
小河多香路	英語	高浜高校
三ツ堀清志	芸術	弥栄高校
須藤 智夫	地歴・公民	津久井浜高校
土谷 優子	地歴・公民	鶴見総合高校
中西 克也	地歴・公民(再任)	
星野 清寛	地歴・公民(再任)	新城高校
長内 悦朗	地歴・公民(再任)	多摩高校
長山 翼	数学(再任)	湘南台高校

氏名	教科等	転出先
田村かおり	数学(再任)	相模湾陽館高校
山根あさか	理科	総合教育センター
塩田 哲夫	理科(再任)	厚木高校
城所 富夫	保健体育(再任)	
小泉 芳孝	保健体育(再任)	柏陽高校
池田 知子	英語	上矢部高校
渡邊 正悟	英語(再任)	鎌倉高校
河野 真弓	家庭(再任)	横浜商業高校
新堀百合子	事務(再任)	
田中 広美	国語(非常勤)	

氏名	教科等	転出先
伊藤 康男	地歴・公民(非常勤)	
浜口 学士	数学(非常勤)	金井高校
曾我部貴之	数学(非常勤)	
坂崎 正	理科(非常勤)	瀬谷西高校
大谷 俊哉	理科(非常勤)	横浜緑園、横浜緑園、横浜緑園
安居 紗代	保健体育(非常勤)	
新垣 昇梧	保健体育(非常勤)	中央農業高校
畠山 耕造	英語(非常勤)	

【平成28年度 新着任者】

氏名	教科等	転入元
西巻 稔	教頭	川崎
北原 良彦	総務教諭	保土ヶ谷
岡田 雄司	地歴・公民	市ヶ尾
渡邊 泰斗	地歴	新採用
広谷 多門	地歴・公民	瀬谷
大川 晋	数学	新採用
笹本 勝也	数学(再任)	厚木
遠藤 守	数学	横浜平沼
香澤 佳祐	数学(再任)	横浜平沼(非)
江藤 千尋	理科	舞岡

氏名	教科等	転入元
森 響一	理科	埼玉県
門田 壽子	理科(再任)	白山
佐久間義明	保健体育	窪田
村山 明夫	保健体育	藤沢西
田島 和之	保健体育(再任)	横浜緑ヶ丘
大久保美紗希	保健体育(再任)	新規
黒澤 幸子	芸術	海老名
稲田 譲	英語	横浜清陵総合
小川由紀菜	英語(再任)	綾瀬西(非)
大貫 謙一	英語	附属中派遣

氏名	教科等	転入元
久保田正芳	家庭	希望ヶ丘(定)
峰谷 和子	事務(再任)	金井
岩田 晴之	国語(非常勤)	
綾部 良和	社会(非常勤)	
小笹 猛	社会(非常勤)	
坂上樹莉菜	保健体育(非常勤)	
重田 公平	書道(非常勤)	
石川 由起子	部活動(非常勤)	

会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本会報の発行費用は平成21年より会報の発行を名簿委託業者であります(株)サルトと共同事業とした独立採算制とし、会員の皆様にはその会報発行費用を賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知のうえ同封させていただきます。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため尽力してまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

※ 会報発行協力金は発行費用を上回ります賛助協力金をいただけた場合、その8割が光陵会への賛助となります。

※ 同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

卒業生からの便り 2017

- 昨年11月の50周年式典に出席して大変感激しました。スタッフの皆さまに感謝です。(11期 男性)
- 50周年おめでとうございました。今でも東海道・横須賀線から眺めるあの変わらない景色と光陵魂の永遠をお祈りいたします。(10期 男性)
- 総会・懇親会にはなかなか参加できませんが、クラス・部活の仲間とはよく会っています。高校時代…とても貴重な時間でした。(18期 女性)
- 普段は高校の事を思い出さず暮らしていますが、『ごんた坂』を読むと、思わず涙してしまったりします。心の深いところで光陵は生きています。(19期 女性)
- 自由と個性を尊ぶ光陵こそあるべき社会の姿だと思います。(12期 男性)
- まだ子供が小さいのですが、もう少し落ち着いたら総会・懇親会に参加してみたいと思っています。(23期 女性)
- 記念誌見ました。懐かしく思いました。作成お疲れ様でした。(10期 男性)
- 3月にキャリアガイダンスに参加。久しぶり(40?年ぶり)に権太坂に参りました。(4期 女性)
- 娘が51期生になりました! ヤッター!! 入学式で校歌を聞いたとき、涙が出そうになってびっくりです。(18期 女性)
- お正月の箱根駅伝で権太坂通過と聞く度に楽しかった青春時代の光陵を懐かしく思い出し胸が熱くなります! 40年たってもかけがえのない母校、訪れてみたいです! (8期 女性)
- 創立50周年、おめでとうございます。100周年(その時自分は94歳)を見届けられるよう、これからも精進していきたいと思っています。(22期 男性)
- 今年は光陵を卒業して10年なんだと、今回の案内を見て気付きました。光陵の卒業生であることを誇りに思います。母校の名に恥じぬよう、地に足をつけてアンバーサリーイヤーの1年を過ごしたいと思えます。(38期 女性)

ご意見募集のお知らせ

光陵会では会員皆様のご意見・ご感想を、同封の総会懇親会出欠ハガキにて募集しております。光陵高校で過ごした思い出や会報を読み思い出されたことなど、ぜひお聞かせください。会報にてご紹介させていただきます。

光陵会 Twitter 始めました!

光陵会事務局では、Twitterを活用した情報発信をしています。会員の皆様へのお知らせだけでなく、事務局の活動の様子や現役生の部活動実績など、卒業生・現役生ともに楽しんでいただけるような内容を日々投稿しています。たくさんのフォローをお待ちしております。光陵会アカウント: @koryokai_offi

♪ 青春かながわ校歌祭のお知らせ ♪

第12回目を迎える青春かながわ校歌祭、光陵会は今年も参加します。例年、光陵高校の音楽室などをお借りして練習会を行っています。当日のみの参加も歓迎します。練習予定日や参加費(楽譜印刷代など昨年は500円)など、詳細はホームページ等でお知らせします。お問い合わせは光陵会スタッフ (staff@koryokai.jp) まで。

～開催案内～

日時: 平成29年9月30日(土)

会場: 厚木市文化会館(厚木市恩名1-9-20)

主催: かながわ校歌振興会

共催: 神奈川県教育委員会

📖 会員名簿の取扱いについて

光陵会では平成27年9月に会員名簿を発刊いたしました。昨今光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございませんので、内容を確認のうえ、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。光陵会では第三者に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しております。皆様も名簿の取扱いには十分ご注意のうえ、外部への流出がないよう、ご配慮ください。会員の皆様のご理解をいただけますようお願い申し上げます。

会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局よりお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、ご入金の確認後1カ月程度のお時間をいただいております。期間の余裕を持ってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿の販売はお一人様一冊までとなります。

宛先:「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

あ と が き

はや穀雨の季節を迎え、今年もこの会報をお届けできることを大変嬉しく思います。『ごんた坂』22号いかがでしたか。母校光陵高校は創立から52年経ってもなお伝統を守りつつ、また新たに誕生したマスコットキャラクターの「ごんたん」とともに、これからも成長続けます。会員の皆様には、この会報を通じて光陵高校の現状と魅力を新たに発見していただけたら幸いです。会報を発行するにあたり、ご多忙のなか、お時間をさき、ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝を申し上げます。我々事務局は49期の新たなスタッフとともに、会報作成や総会・懇親会の開催などを中心として、これからも一生懸命活動していきたいと思っています。会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りしつつ、あとがきに代えさせていただきます。(48期 千々輪 晃斗)